

第53回 ゲルマン諸国家

1 ゲルマン人の大移動

- ・ヨーロッパの気候は、西岸海洋性気候、大陸性気候、地中海性気候に分かれる。
- ・ヨーロッパには、インド=ヨーロッパ語（印欧語）族の民族が居住していた。
- ・アルプス以北には、印欧語系の（ ）が先住民として居住していた。
→その後、同じく印欧語系の（ ）が、先住のケルト人を圧迫しながら（ ）・（ ）の周辺にひろく居住するようになった。

- ・ゲルマン人は、（ ）で政治的な決定を行い、（ ）と呼ばれる主従関係を持っていたとされる。

→南のローマ帝国と争ったが、傭兵やコロヌスとしてローマ帝国で働く者もいた。

- ・4世紀、中央アジアの遊牧騎馬民族（ ）の一派とされる（ ）が西方に移動し、東ゴート人を支配して西ゴート人を圧迫した。

→（ ）年、西ゴート人がローマ帝国領内に大移動を始めると、ゲルマン人はローマ帝国各地にゲルマン人国家を建設していった。

- ・またフン人は、（ ）を中心に帝国を築き、（ ）に率いられてヨーロッパに侵入した。

→451年、パリの東方で行われた（ ）で敗れた。



タキトゥス

ローマ時代の歴史家である。『ゲルマニア』は、わからないことが多いゲルマン人の生活や習慣を知る貴重な記録である。



フンのアッティラ王

フン人の大帝国を築き、ヨーロッパでは「神の災い」と呼ばれて恐れられた。自分の結婚式の最中に倒れて死んだとされる。



教皇レオ1世とアッティラ

イタリアに侵入したアッティラは、ローマ教皇レオ1世の説得でイタリアから撤退したと伝えられる。左の絵はラファエロが描いた有名な作品。

2 ゲルマン諸国家

- ・ゲルマン人の大移動により、衰退を始めていたローマ帝国は大混乱となった。
→395年、最後の皇帝となった（ ）の死後に東西に分裂した。
→476年、西ローマ帝国は、ゲルマン人の傭兵隊長（ ）によって最後の皇帝が廃位され、滅亡した。

☆（ ）（415～711年）

都…トレド ※現在の（ ）にある

◆アラリック王（在位 395～410年）

- ・ゲルマン人のなかで最初に移動を開始した西ゴート人が、（ ）を越えてイベリア半島に建国した。



傭兵隊長オドアケル
西ローマ皇帝ロムルス=アウグストゥルスを廃して、西ローマ帝国を滅ぼした。しかし彼も東ゴートに滅ぼされた。

- ☆ () (429～534年)
- ・ヴァンダル人が、北アフリカを根拠地にして建国した。
- ・534年、東ローマ帝国の () によって滅ぼされた。

- ☆ () (493～552年)
- ◆ () (在位 473年ころ～526年)
- ・東ゴート人が、オドアケルを倒して北イタリアに建国した。
- ・552年、東ローマ帝国の () によって滅ぼされた。

- ☆ () (568～774年)
- ・東ゴート王国が滅亡した後に、ランゴバルド人が北イタリアに建国した。

- ☆ () (443～534年)
- ・ブルグンド人がガリア (フランス) の東南部に建国した。



テオドリック大王
オドアケルを倒し、イタリアを支配した。彼自身は優秀だったが、後継者がいなかったことは、後に東ローマ帝国に滅ぼされる要因となった。



エグバート
元々は七王国のウェセックスの王であった。

- ☆ () (449～829年)
- ・アングロ=サクソン人が、5世紀にブリタニア (大ブリテン島) に侵入し、7つの王国を建国した。 ※この七王国を () という。
- ・829年、エグバートが七王国を統一し、 () となった。
- ・ケルト人は、 ()、スコットランド、ウェールズなどに居住した。

- ☆ () (481～751年)
- ◆ () (在位 481～511年)
- ・フランク人が、ガリア (フランス) の北部に建国した。
- ・496年、クローヴィスは、正統の () のキリスト教に改宗した。
- ローマ教皇や旧ローマ市民から支持されるようになり、フランク王国はゲルマン諸国家の中で、最も強力な国家となっていった。



クローヴィス
妻が元々アタナシウス派であったらしい。

